

## 平塚市行政改革推進委員会(事業評価)の結果について

<b>事業No.</b>	8						
<b>事業名</b>	青少年相談室運営事業			<b>所管課</b>	青少年課		
<b>判定結果</b>	見直し		<b>傍聴者数</b>	21人			
<b>判定内訳</b>	現行 どおり	3	見直し	5	国・県 0	廃止	0

### 事業評価シートの記載内容

**【委員長】 見直し…事業費を削減すべき**

- ・運営のみ別事業にする必要性が良く分からない。重複しているのではないか。
- ・法務省の「保護司」「社会を明るくする運動」について、市役所として担うべき役割の再検討が必要。

**【副委員長】 現行どおり**

- ・成果指標として、青少年非行実態のフォロー／分析をすべき。
- ・それに基づきPDCAのサイクルを回して、活動内容もタイムリーに見直してほしい。
- ・相談内容…その分析／対応内容などフォローした方が良いのでは？

**【A委員】 現行どおり**

- ・啓発活動のやり方を工夫すべきではあるが、全体としては現行どおりで良い。

**【B委員】 見直し**

- ・啓発活動については、民間委託を活用してみてもどうでしょうか。対象者が若者である以上、チラシというのはほとんど見ないと思います。

**【C委員】 現行どおり**

- ・積極的に悩み事相談の窓口であることを意義のある啓発活動で実施してほしい。

**【D委員】 見直し…平塚市が今後も関与するべきだが方法を見直すべき**

- ・相談室事業は一つに統合すべき。事業も重なっているので、例えば事務所の管理費、維持費、管理費、研修費等は明らかに重なっている。

**【E委員】 見直し…事業内容を見直すべき**

- ・非行数を少なくするのが重要であるので、その対応の指標に見直しする。
- ・非行の内容で指標を見直す。

**【F委員】 見直し**

- ・補助事業が組み込まれており、一番分かりにくい。
- ・事業を分けるなどして透明性を高めた方が良いのではないか。